

留学生の声エッセイ

別科 チョウ ユウニン(張佑任)

日本での留学生活

皆さん、こんにちは。張佑任と申します。私は 2024 年 9 月に台湾の淡江大学から日本へ留学しに来ました。現在は城西大学の別科で日本語を中心に学んでいます。別科の先生方は皆さんとても優しく、わかりやすく丁寧に教えてくださいます。

日本に来てもう 9 ヶ月に経ちました。この 9 ヶ月間、日本での生活は楽しい経験ばかりでした。学校の授業を通じて勉強し、イベントに参加したり、友達や家族と一緒に色々な場所に行ったり、美味しい食べ物を食べたりしました。

日本に来たばかりの頃、留学生たちと JIST の皆さんと一緒に川越（通称「小江戸」）に行きました。そこで人生で初めて浴衣を着て、氷川神社まで歩きました。そして初めて下駄を履いたため、すごく歩きにくくて、足が痛かったです。でも、本当に日本っぽい建物をいっぱい見て、感動しました！



(浴衣姿)

11月3日と4日は、学校一大イベント「高麗祭」に参加しました。高麗祭では、屋台、ライブ、スピーチコンテストなどのイベントが開催され、私たち留学生もう自分の国の文化を紹介したり、お菓子を配ったり、各国特有なゲームをしたりしました。様々な国の文化や伝統的な衣装、食べ物、建物などを知ることができ、勉強にもなりましたし、とても充実した二日間でした。



(台湾の出し物)

11月下旬の頃、台湾の友達と埼玉県の森林公園に紅葉を見に行きました。その時はまさに紅葉が見頃で、すごく綺麗でした。また、公園内は自然に囲まれていて、良い空気を吸いながら芝生の上でのんびりと過ごす時間は最高の気分でした！



(気持ちよく寝た俺)



春休みには、長期休暇を利用して、母が台湾から日本に遊びに来てくれました。3 月には一緒に東北地方を旅行しました。仙台、三島、秋田、青森などの場所に行きました。驚いたことにもう 3 月だというのに、また積雪がいっぱい残っていて、とても寒かったです。地元の人の話によると、場所によっては 5 月や 6 月になっても雪が残ることがあるそうです。台湾ではなかなか雪を見る機会がないので、とても感動しました。

（銀山温泉で母とのツーショット）

それから、日本に来て一番楽しんでいたイベント「アニメジャパン」に参加しました。日本語に好きになったきっかけはアニメでした。子供の頃からアニメをよく見ているうちに、少しずつ日本語がわかるようになり、やがて本格的に勉強を始めるようになりました。台湾で似たようなイベントにも行ったことがありますが、日本の「アニメジャパン」は規模も内容も全く違い、まさにオタク達の天国でした。好きなアニメのキャラクターに写真を撮ったり、限定グッズを買ったりして、あっという間に時間が過ぎてしまいました。



(アニメジャパンの入口)

時間が過ぎるのは本当に速早いもので、気がつけばもう 9 ヶ月が経ちました。でも、この間に色々な国の人と出会い、日本各地の美食を味わい、今まであったことないことを体験したりしました。残された時間はあとわずかですが、まだ行ったことない場所へ旅行しに出たり、見たことのない景色を見たり、食べたことない料理を食べたりして、最後まで日本での生活を楽しまたいです。